



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

第1594回 例会
2025. 2. 14(金) 晴

司会: 高村勝則君

ロータリーソング「我等の生業」 指揮: 杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 仲原実圭君

今週の水曜日にCテーブルのテーブル会があり、参加させて頂きました。入会半年の新井さんから‘倫理観’について質問が出ました。先週日曜日の‘RLI’のセッションで出てきたもので‘ロータリーの目的の第2項に記されている職業上の高い倫理基準や職業の高潔性をどのように考えますか?’という問いです。この質問から始まったテーブル会は終始ロータリー談義で終わり、参加していた加藤正幸PCから‘こんなロータリーの話ばかりで終わったテーブル会は過去に記憶が無いよ’と言われるほどでした。また、中村PCからは12月に行われたロータリー研究会の感想や変化している奉仕活動の実態など説明頂きとても有意義な時間でした。またRLIへのPCの参加も提案させて頂きました。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

倫理とは

人のふみ行うべき道。

ある社会で、人びとがそれによって善悪・正邪を判断し、正しく行為するための規範の総体。

さて、ロータリーの活動月間の2月は‘平和構築と紛争予防’です。先週に引き続きRIとTRFの活動についてご紹介させて頂きます。

本年度、トルコのイスタンブールに新たにロータリー平和センターが開設されました。



ロータリー平和センターでの活動内容をアフリカウガンダのマケレレ大学平和センターでの動画をご覧ください。



出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/40	77.50%	33/40	82.50%
今回	26/39	66.67%	会員総数	41名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井君、遠藤君、加藤(貴)君、加藤(正)君、小島君、小林君、杉橋君、土屋君、藤川君、宮澤君、矢岸君、吉村君、渡邊君
(*出席免除会員の欠席者 片野君 中村君)

幹事報告

幹事 原兄多君

1. 来週は夜例会です。
ロータリー手帳の案内が来ております。欲しい方は事務局までお申し出ください。

おめでとう

入会記念日
2月9日 成田美幸君
2月14日 服部光弥君
2月20日 原兄多君



スマイルボックス

入江俊介君:2/13当社の社長が変わりました。色々な変化がありそうですが、変わらずご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

高橋麻子君:卓話がんばります。よろしくお願いします。

野村諒子君:今日から2月市議会が始まります。来年の予算を決める大事な議会です。インターネットでも見ることができます。ご覧ください。ということで早退しますがよろしくお願いします。

岡良森君:対岸の火事だと思っていたロサンゼルスの大震災、1年半前に三島にきた交換学生の住宅も被災したことがわかりました。大村君と私と一緒に富士山登山した仲間です。三島国際交流協会として支援することとなりました。早い復興を祈ります。

田村康晃君:2月14日はバレンタインデーですね!今年もたくさんチョコがもらえると思っているのでスマイルします!

Cテーブル:12日にテーブル会を行いました。諸事情により1名ドタキャンがありましたが、会費は全額いただきましたので、余った飲み放題分の代金をスマイルします。

卓話

高橋麻子君



仕事は、旧制高橋麻子でしておりますが、本名は磯野麻子です。平成24年 株式会社ASOBI Meister を設立。三島市より委託を受けて「森のようちえん」事業を開始しました。平成25年 NPO法人森のようちえん太陽と緑の風クラブを設立。森のようちえん活動では、子ども達のIQよりもEQ(人間力)の向上を目指してきました。子育てで重要なのは、成績の良い子に育てるのではなく将来社会人として「自分で稼ぐことの出来る大人」に育てる事。つまり大事なのは高学歴ではなく社会性や感情コントロールを適切に行う能力で、それらは自然の中で時間を忘れ夢中になって遊ぶ事で育まれます。自然体験では泥遊び・水遊び・昆虫などの生き物を観察し、五感を研ぎ澄ませ、木登りや川遊びでは体幹・バランス感覚を鍛えます。どれも最近の子ども達に欠落していると言われているものです。平成25年三島市消防団入団。森のようちえんで子ども達が万が一怪我をした際に適切な対応が出来るよう「応急手当指導員」の資格を取得した折に消防署の警防救急課に懇願され、女性消防団に入団しました。軽可搬ポンプ操法の全国大会にも出場させていただきました。平成26年防災士取得、平成28年一般社団法人災害教育支援機構設立。三島市の総合防災訓練や幼稚園・小学校などで子供向けの防災教室を行っています。令和元年 ペット災害危機管理士取得、わが家には猫×3・トイプードル1・陸ガメ1・ニワトリ×2と、家族が多いのでペット防災には積極的に知識を深めてきました。平成30年三島市の助成事業で「子ども食堂」を開始、現在では毎月1回「森の子ども食堂」毎週火曜日「寺っ子家子ども食堂」その他、ひとり親家庭の支援「みんなのハッピーれいぞうこ」等の事業を行っています。令和2年自立援助ホームkokokara設立、令和4年自立援助ホームkokorone設立。自立援助ホームとは…なんらかの理由で家庭にいらなくなり、働かざるを得なくなった原則として15歳から20歳まで(状況によって年齢制限なし)の子どもたちに暮らしの場を与える施設です。安心して生活できる場を提供し、大人との信頼関係を通して社会で生き抜く力を身に付け、子どもたちが経済的にも精神的にも自立できるように援助する事を目的としています。現在両ホームで7名の利用者が高校や専門学校に通学しながら自立を目指して生活しています。令和5年補導委託開始。補導委託とは家庭裁判所が少年の最終的な処分を決める前に、民間のボランティアの方に、非行のあった少年をしばらくの間預け、少年に仕事や通学をさせながら、生活指導をする制度です。現在まで2人の非行少年の受け入れを行いました。これからも困難を乗り越え、社会で自立していく子ども達に寄り添い、サポートを続けていきたいと思っております。